

大会プログラム

●11月3日(土) 公開講演会・総会・懇親会

・公開講演会

12:00～ 受付

13:00～13:10 あいさつ・趣旨説明

13:10～14:40 基調講演「1980年代前半の中国考古学事情—史跡をめぐる五万キロの旅—」
前園実知雄(奈良県立芸術短期大学教授)

14:40～15:00 休憩(舞台設営)

15:00～16:00 座談会「当時の留学生と北京大学生が語り合う 1980年代前半の中国考古学事情」
前園実知雄(奈良県立芸術短期大学教授)・大貫静夫(東京大学名誉教授)・
谷豊信(東京国立博物館)・蘇哲(金城大学教授)
コーディネーター:宮本一夫(九州大学教授) (予定)

16:00～ 閉会挨拶

・総会および懇親会

16:15～17:00 総会

18:00～20:00 懇親会:展望レストラン「きらり CUCINA」(近鉄百貨店橿原店7階)

●11月4日(日) 研究発表

09:00～ 受付

09:25～ 連絡事項

09:30～10:00 松永篤知(金沢大学資料館)
「中国先史時代の編物について」

10:00～10:30 齊藤希(橿原考古学研究所)
「新石器時代から商文化期にかけての調理具の法量変化と多様性について—
中国北方地域の資料を中心として—」

10:30～11:00 丹羽崇史(奈良文化財研究所)
「製作技術からみた九連墩墓地出土青銅器—青銅升鼎の分析を中心に—」

11:00～11:15 休憩

11:15～11:45 小田木治太郎(天理大学)曹建恩(内蒙古自治区文物考古研究所)廣川守(泉
屋博古館)菊地大樹(中国社会科学院考古研究所)索秀芬(内蒙古自治区文物
考古研究所)李少兵(内蒙古博物院)
「内蒙古涼城周辺の中国北方青銅器文化金属器」

11:45～12:15 戴玥(九州大学人文科学府)
「草原地帯東部における馬具の展開」

- 12:15～13:00 昼食
- 13:00～13:45 ポスターセッション
- 13:45～14:15 佐川正敏（東北学院大学）臼杵勲（札幌学院大学）柳本照男（大阪大学）
正司哲朗（奈良大学）
「匈奴の瓦塼生産と供給および秦漢との比較研究 —モンゴル国ホステイン・ボラグ 2・3 遺跡を中心に—」
- 14:15～14:45 江介也（近畿大学・佛教大学）
「六朝墓画像塼の地域性分析による墳墓観の研究 —浙江地域を中心に—」
- 14:45～15:00 休憩
- 15:00～15:30 姚瑶（東南大学芸術学院）
「龍門石窟における武周期の造営活動に関する研究」
- 15:30～16:00 新井崇之（日本学術振興会特別研究員（PD）・筑波大学）
「明初期における官窯体制の変遷と御器廠の成立年代に関する考察」
- 16:00～ 閉会あいさつ

●ポスター発表

- ・ 上條信彦（弘前大学）孫国平（浙江省文物考古研究所）
「田螺山遺跡石器・木杵の使用痕・残存デンプン粒分析から見た食料資源利用」
- ・ 宇田津徹朗（宮崎大学）田崎博之（愛媛大学）劉斌・王寧遠・鄭雲飛（浙江省文物考古研究所）
「水田探査結果から推定される良渚遺跡群の水田立地モデル」
- ・ 久保田慎二（金沢大学）小林正史（北陸学院大学）宮田佳樹（金沢大学）北野博司（東北芸術工科大学）劉斌・王寧遠・陳明輝（浙江省文物考古研究所）中村慎一（金沢大学）「良渚文化の蒸し調理と土器の使い分け—良渚遺跡群美人地遺跡を例として—」
- ・ 中川香（國學院大學大学院）
「三星堆遺跡内の「月亮湾坑」の性格について考える」
- ・ 新尺雅弘（京都大学大学院）
「戦国から秦漢への造瓦技術の展開—黒川古文化研究所所蔵品の観察を中心に—」
- ・ 大平理紗（山西大学歴史文化学院）
「北朝儀仗俑の数量増加をめぐって（仮題）」